

Primatte AI

バックスクリーンと前景オブジェクトを認識する、全く新しいPrimatte

ブルースクリーン・グリーンスクリーン処理の定番ソフトPrimatteが変わります。1992年から採用されていたポリヘドロン・スライシング・メソッドが、全く新しい「ピクセル・アダプティブ・プロセス」に生まれ変わりました。近傍画素色推論や教師付き機械学習によるスピル色判定など最新のテクノロジーを導入し、クロマキー処理の効率と品質を更なる高みに引き上げます。



マウスオペレーションなし。フルオート設定

最新のコンピュータビジョンテクノロジーを用いてグリーンスクリーン・ブルースクリーン画像をピクセル単位で解析し、合成画像を推測/生成します。

Primatte



PrimatteAI

AutoCompute CleanBG CleanFG Spill Sponge



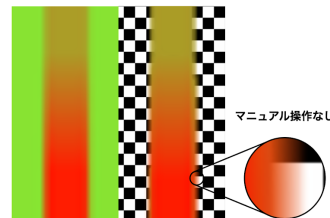
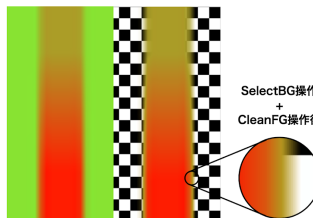
新技術「ピクセル・アダプティブ・プロセス」

PrimatteAIは色空間ベースではなくピクセルベースでクロマキー処理を行います。前景オブジェクトの場所に応じてピクセル単位で最適なキー調整を適用します。従来のPrimatteでグリーンスクリーン前の黄色い被写体をキーイングすると、赤い被写体のエッジに黄色い輪郭が発生していました。

Primatte



PrimatteAI



従来の性能を圧倒する微細なエッジ処理

PrimatteAIは、アルファミックスでもアディティブミックスなく、独自の前景背景ブレンド処理を採用しています。バックスクリーンの色に近い、細い髪の毛のピクセル色も切り捨てることなく合成します。さらにピクセルアダプティブプロセスの効果で、ディテールを残しても被写体エッジから離れた部分のバックスクリーンノイズの影響を受けにくくなっています。

Primatte



PrimatteAI



Auto Compute + Restore Detail



Max. Detail モードON



プロユースに応える機能

- ディテール表現を最大にするMax.Detailモード
- 処理スピードに特化したFastモード
- 数百枚のサンプルを用いた教師付き機械学習
- ネイティブマルチスレッド並列化
- 画像サンプリング無しの4種類の微調整モード
- 時系列スムージングフィルタ

開発元
株式会社ヘミボラ
www.hemibola.com

販売
株式会社メディア・ソリューションズ
www.msinc.co.jp
お問い合わせ
info@msinc.co.jp